

令和7年度 第48回基礎学力調査について

広島県中学校教育研究会数学部会・広島県中学校数学教育会

研究推進員会研究代表

福山市立大成館中学校

府中市立府中学園

坂町立坂中学校

1 はじめに

広島県中学校教育研究会数学部会では、生徒の学年別領域別基礎的・基本的な学力の実態を明らかにし、生徒一人ひとりの学力をより確かなものにするための指導法を研究するため、毎年基礎学力調査を実施している。基礎学力調査は今回で第48回を数える。

今年度は調査内容を「数と式」とし、「数と式」領域における基礎的・基本的な内容の問題を抽出して調査を行った。前回（令和元年度）の「数と式」領域の調査結果と比較したり、複数の学年に共通な問題を作成して学年ごとの正答率を比較したりすることにより、考察を行った。このことにより、生徒の実態を適切に把握し、指導法を工夫改善することができればと願っている。

2 研究の方法

広島県下の中学生を対象に、第1学年905名、第2学年891名、第3学年919名を抽出して、令和6年度に調査を実施、結果の分析、考察を行った。調査結果をもとに、特徴的な問題について、誤答分析によりつまづきの実態を明らかにするとともに、指導改善に向けた事例を考察した。

3 研究内容

各学年の問題は、前回との比較が可能になるよう過去の問題を参考にして作成した。「数と式」の分野では、計算問題を中心に出题している。また、複数の学年に共通な問題を作成して学年ごとの正答率を比較できるようにし、結果を分析した。

4 結果の概要

5 各学年の結果と分析

6 今後に向けて

7 おわりに

広島県中学校教育研究会数学部会が、毎年部会員の協力を得て行っている基礎学力調査は、今回で48回を数えることになる。文部科学省が7月31日に公表した「全国学力・学習状況調査」の結果では、広島県の中学校3年生の数学の平均正答率が全国平均を4年連続で下回る結果が示された。県全体の授業力を上げていくことは喫緊の課題であるといえる。広島県で学ぶ生徒一人一人が確実に基礎学力を身に付けるために、4年後の基礎学力調査（「数と式」）の結果報告では、すべての問題において今年度より正答率が上昇しているよう、今後も指導の工夫改善に取り組んでいきたい。